

杉並清掃工場だより

新工場 第13号 (通算 第49号) 令和6年3月15日発行

東京二十三区清掃一部事務組合 杉並清掃工場

〒168-0072 杉並区高井戸東三丁目7番6号

☎ 03-3334-5301 FAX 03-3334-5321

<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/kojo/suginami/index.html>



アンネのバラ



「杉並清掃工場 環境フェア2023」を開催しました

令和5年11月12日（日）、杉並正用記念財団及び杉並区共催のもと「杉並清掃工場 環境フェア2023」を開催し、約2,500名の方にご来場いただきました。実験やゲームをとおして、ごみの減量や環境を守ることの大切さを楽しく学んでいただき、清掃工場の内部をじっくり見学していただくなど、当工場を身近に感じていただいた一日となりました。

今後も「地域にとけ込み、信頼される清掃工場」を目指していきます。

専用地下道探検



ごみ分別スマートボール



汚水処理の化学実験

工場見学



環境啓発ポスターを展示しています

杉並清掃工場では杉並正用記念財団主催で、近隣小学校（高井戸小、富士見丘小、高井戸東小）の4年生が制作した環境啓発に関するポスターを展示しています。これは、次世代を担う小学生が環境保全の大切さやその必要性を学び、自発的な行動のきっかけとなるように実施しているものです。さらに、制作された作品の中から優秀作品等を選出し、環境フェア当日に環境作品表彰式を開催しました。



展示の様子

運営協議会を開催しました



運営協議会当日の様子

令和5年12月21日（木）、第100回杉並清掃工場運営協議会を開催しました。運営協議会は、地域住民代表、杉並区、清掃一組の三者で構成され、年2回開催しています。当日は、操業状況や環境調査結果等の報告を行いました。なお、排ガスや臭気等の調査項目は基準値を十分に満たしています。

資料は当組合のホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

定期補修工事を実施しています

杉並清掃工場では令和6年1月から3月にかけて、焼却炉を停止して定期補修工事を実施しています。

焼却炉内部や各設備の点検・補修など、停止中にしかできない作業を行いながら、点検結果に基づいて次回の整備計画を立て、着実に予防保全を実施することで工場の安定した稼働に取り組んでいます。

右写真は、今年度に行った補修作業の一例です。



火格子の交換

火格子
焼却炉内に投入されたごみを移送しながら燃焼させる階段状の装置



ボイラ給水ポンプの補修（取外し中）

ボイラ給水ポンプ
高温・高圧の水をボイラに送り込む機器

灰クレーンバケットを更新しました

昨年のごみクレーンバケット更新に続き、今年度は焼却炉停止期間中に灰クレーンバケットの更新を行いました。

バケット重量は5トンもあり、一度に3トンの灰を掴むことができます。ごみを焼却して発生した灰はこのバケットにより運搬車に積み込まれ、埋立処分場や資源化施設に運ばれます。

6本の爪でごみを掴むごみクレーンに対し、灰クレーンは左右に開くバケットが隙間無く閉じるため、焼却灰を掴むのに適した形をしています。



【新しい灰クレーンバケット】

職場体験を実施しました

令和5年11月1日(水)、2日(木)に杉並区立高井戸中学校の生徒3名の職場体験を実施しました。当日は工場見学のほか、ミニチュアごみクレーンバケットの製作や、工場に搬入されたごみの組成等を調べるごみ性状調査の立会の体験をしていただきました。

生徒からは「この貴重な体験を就職やこの先の人生に活かしていきたい」「ごみの処理には分別が大切だと実感した」等の感想がありました。



工場見学



ミニチュアクレーン製作



修了式

二次電池付き製品分別のお願い



令和5年11月に江東区にある「粗大ごみ破碎処理施設」において、コードレス製品等に含まれる二次電池を原因とする火災が発生しました。また、12月には杉並区内でも、可燃ごみと一緒に捨てられた二次電池（パソコンバッテリー）の発火による清掃車両火災が発生しました。このような火災の発生は、機器の故障等による搬入停止や多額の修理費用がかかる等、重大な影響を及ぼします。必ず分別して適正な排出をお願いします。

※二次電池：充電して繰り返し使える電池

